

## 第4回 苦手な数学を克服し、夢を叶えるために理系の道に!

今回は、I・T・T・O個別指導学院松戸二十世紀が丘校に通う現在高校2年生のN君に話を伺った。元々は「塾通いは絶対に嫌だ」と思っていたにも関わらず、お母様の勧めで中学1年生の冬に、苦手な数学を克服するために、同塾に通うことになったという。

**Q** I・T・T・Oに入ってからどのくらい成績が伸びましたか？

**A** 中学校2年生の初めは50点台だった数学の定期テストの点数が、少しずつ伸びていき、中学校3年生で100点を取れました。

**Q**ズバリ、この塾のいいところは？

**A** 先生が皆、わかるようになるまで徹底して教えてくれます。勉強以外の話もできて、自分の好きな科学の話を通じる先生がいることも、塾嫌いな僕が通い続けるモチベーションになりました。

**Q**印象に残っている出来事はありますか？

**A** 中学校3年生の11月下旬に、教室長に「受験をやめろ」と叱られたことです。当時、僕は反抗期で

した。周りの大人の言うことをきかず、小馬鹿にしていたところがありました。そのことを叱られ、そこから受験までの間、気持ちを切り替えて頑張れました。教室長が厳しく向き合ってくれたことを、今では感謝しています。

**Q**お気に入りの先生は？

**A** 森山先生です。高校に入ってから、最もテストの難しい数学を教えてもらっています。勉強のことでだけではなく、大学受験の話もしてもらえるので、色々相談しています。

**Q**将来の夢は？

**A** 生物学の研究者です。小さい頃から生物が好きで、今では理数科の高校の研究課題で、生物についての研究をしています。

最後に、「最初は塾をやめたい、と思っていたのに、今は楽しいと感じるようになりました。勉強のことで以外にも、世間の常識や、ゲームのこと等、色々なことを教えてもらっています。この塾に入らなければ、将来の夢をずっと変えず

に持ち続けることができなかったと思います。数学ができていなければ、この塾に入ることもなかったもので、ある意味、あの頃数学ができなくて良かったと思っっています(笑)」と、冗談も交えて語ってくれたN君。約1年後に控えた大学受験に向け、勉強に対するエンジンをかけている最中だ。

■担当講師より一言

私がN君の担当しはじめたのは、彼が高校に入学してからでした。理数科でのハイレベルな数学についていくための授業を行なっていました。しかし、受験が終わった安心感からか、高校1年生の頃、勉強に身が入らなくなってしまうしました。同じ理系ということ、大学受験の実体験を踏まえて話をしました。そこから危機感が芽生えたのか、今では勉強に取り組む姿勢が変わってきています。彼の能力を最大限に引き出していくことが講師としての役目であると感じております。勉強に対して影響を与える要因は様々ですが、そこに向き合っていきなから、最善の勉強法を見出していきます。